資料２

（仮称）自転車のまち推進計画　計画名称・サブタイトル候補一覧

計画名称	サブタイトル	理由
①自転車快適宇都宮プラン ②自転車で愉快だ宇都宮プラン	①自転車活用で市民の快適・健康・経済・環境・交通安全の増進（５つのＫ＝kaiteki，kenko，keizai，kankyo，kotsuanzen）のまちづくり	・　宇都宮市民が自転車を活用して愉快で快適でエコなまちになることを目指していることがわかるような名称が適当。「プラン」の方が柔らかい感じがする。 ・　Ｋはマイナスイメージであるが，自転車が目指すものをプラスイメージに転換して，自転車が持つメリットを統一して理解してもらうようなサブタイトルが良い。
③エコＣＣプランうつのみや （ＣＣはCycle,Cityの頭文字）	②市民や市を訪れる方々が，自転車を安全に快適に楽しく乗れるまちづくりを進めます。そして市民は，体や環境にやさしい自転車を楽しんでいます。	・　宇都宮市は自転車のまちとしての大きなポテンシャルを持ちながら，そのことが市民に浸透していない。まず計画・行動を知ってもらい憶えていただくことを念頭に印象に残るネーミングとした。ＣＯ2排出量の多い宇都宮市は，この行動を機会に自家用車から自転車への乗換えが重要であり，「エコ」をつけることでその狙いを明確にし，他市との差別化を図りたい。 ・　「自転車のまち宇都宮」は，宇都宮ブランドのひとつとして育てていきたい。そのためにハード面でもソフト面でも改善を進め，何よりも自転車を愛する市民を増やし，他市との差別化を図っていきたい。
④うつのみやサイクルブランド計画	③自転車で「わ」を広げよう。	・　宇都宮市は「ジャパンカップ」や「宇都宮ブリッツェン」など他都市にはないサイクリングの魅力があふれたまちであるが，一方で，交通事故の発生件数が多く，自動車保有率も高い。自転車で快適な暮らしがでいるよう，自転車が宇都宮市のブランドであるという意識を高めてもらいたいと考えた。 ・　自転車で「輪」を広げること（自転車利用者の増加を目指す），自転車で「環」を広げること（自転車利用の促進により，人と人，人と地域，さらに地域と地域のつながりが深まることを目指す），自転車で「和」を広げること（環境，あるいは景観の調和を図り，交通事故ゼロのまちを目指す），宇都宮市が自転車のまちとして発展していくために，以上のような「わ」を広げることが必要と考えた。
⑤うつのみや自転車のまち総合計画	④自転車でつくる人も街も元気なまち宇都宮 ～すべての人が安全に共存できる道路空間と澄んだ空気の美しい故郷をつくるために～	・　地球環境，健康，安全，利便性，まちの活性化等，多面的目標を含んだ計画なので，全ての人にわかりやすい様に総合計画とした。「自転車のまち」は固定化したイメージで必須，「うつのみや」は親しみと愛情を込めた。 ・　個々の小さな目的よりも一番大切な大局的な目標を表現したいと考えた。
⑥「自転車のまち宇都宮」宇都宮自転車利用促進プラン ⑦「自転車のまち宇都宮」宇都宮エコライフプラン	⑤自転車でつくろう！地球に優しい環境と住民の憩いの街づくり ⑥エコサイクルシティうつのみや	・　「自転車のまち宇都宮」を前面に出した名称が良いと考えた。 ・　自転車利用促進が渋滞の軽減，ＣＯ2の削減，地球温暖化防止につながり環境に優しいという表現が良いと考えた。
⑧うつのみや（宮っこ）エコサイクリングプラン	⑦環境にやさしくゆとりある自転車空間創出	・　平仮名でやわらかいイメージを出し，環境だけに限定するわけではないが，インパクトのあるキャッチフレーズをひとつ出すならエコではないかと考えた。 ・　交通事故の発生件数，自動車保有台数も全国上位を占めるという状況であり，心にゆとりのあるスローライフ的なイメージをつけると良いと考えた。
⑨走れば愉快だ宇都宮自転車プラン	⑧安全，楽しく，快適に自転車を利用できる環境づくり	・　手軽に自転車に親しんでもらうものとして考えた。 ・　健康とエコに自転車を使ってもらえるような言葉を考えた。
⑩自転車の生きるまち“うつのみや”推進プラン（推進基本計画）	⑨楽しく，便利に，安全に，環境にやさしく，自転車でつながるまち「サイクルシティうつのみや」づくり	・　宇都宮市の総合計画や都市交通戦略等との整合性を図り，「自転車利用活用基本計画」を生かすプランづくりのため ・　６つの柱に新たな視点を加味した自転車のまち「サイクルシティうつのみや」を目指すため。
⑪宇都宮市自転車のまち推進計画 ＜事務局案＞	⑩ひとや環境にやさしい　自転車が似合うまち　うつのみや ⑪だれもが自転車を「安全に」「快適に」「楽しく」利用できる，人や環境に優しい自転車を愛するまちを目指して	・　今回の計画は「自転車のまち宇都宮」の目指すものであることから，その取組を市民に認知していただくために，計画名称はシンプルに表現した方が良いと考えた。 ・　サブタイトルは，これまでの懇談会での議論も踏まえ，計画の施策事業の内容を一言で表現できるものが良いと考えた。